

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化・スポーツ振興事業			会計	款	項目	大手	小事
				01	10	01	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化・スポーツ等の大会等へ出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体	意図	文化・スポーツの振興・奨励
事業内容	文化・スポーツの大会への出場又は、優秀な成績を収めた市民、団体からの申請により、審査会の意見を聞いて、教育委員会が奨励金の交付の可否を決定し、奨励金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化				

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	奨励金交付件数	8	18	22	回	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,046,360	1,848,400	2,122,800			
事業費(b)(円)		90,000	190,000	165,000			
うち一般財源		90,000	190,000	165,000			
職員給与費(c)(円)		1,956,360	1,658,400	1,957,800			
人役・職員(人)		0.28	0.24	0.26			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	交付対象を含めた制度設計について検討する。	③取組の課題	基準を明確にしたことから、対象者が絞られるため、市民に理解してもらうことが必要。
②今年度(H27)に実施した取組	要綱を制定、告示し、基準を明確にした。	④今後の改善計画	交付対象、交付額を明確にし、公平性を期すことで、さらに文化・スポーツの振興、奨励を図る。